

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 027	提案機関名 農業技術センター・普及指導部野菜課
要望問題名 にんにくの品質を低下させない乾燥貯蔵技術及び省力化安定生産技術の確立	
要望問題の内容 【背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等)】 近年、にんにくは、鳥獣の被害を受けにくい作物として、栽培面積が増えてきている。にんにく導入地域では、収穫後は自然乾燥を行っているが、乾燥・貯蔵中に発生するカビ等により品質が低下している事例が多い。そこで、自然乾燥において品質を落とさない乾燥・貯蔵技術について検討を行っていただきたい。また、栽培後半(4月以降)に発生する春腐病による減収が大きいことから、作期の前進化を含めた防除対策についての検討を行って頂きたい。併せて生産者の高齢化に伴い省力的体系についても検討して頂きたい。	
対象:県下にんにく生産者	
解決希望年限	1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> 農業技術センター 畜産技術所 水産技術センター <input type="checkbox"/> 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	経営情報研究部
対応区分	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可		
試験研究課題名 (、、の場合)	(乾燥・貯蔵技術)特性・加工特性の解明と高付加価値化に関する研究 (省力化・作期前進)農業機械等の改良による省力化技術の開発		
対応の内容等	(乾燥・貯蔵技術)大型乾燥施設を使ったニンニクの乾燥方法はすでに開発されており、ここでは、自然乾燥との要望が出されていますが、自然乾燥では限界があります。そこで、小規模で簡易な設備での乾燥方法を検討します。 (省力化)ニンニクの栽培においては、種球植え付け作業と収穫・調製作業の作業負担が大きく、他産地でも省力化が求められています。播種作業については、連結紙筒を用いた歩行型簡易移植機による省力化の検討をしております。 (作期前進)作期の前進については、被覆資材等による生育の差を検討しております。また、三浦半島地区事務所でも被覆資材の活用等による作期前進が過去に検討されておりますので、その情報を併せてご活用下さい。		
解決予定年限	1年以内 <input type="checkbox"/> 2～3年以内 4～5年以内 5～10年以内		
備考			